

七夕まつり、交通実験、そして今

『豊中駅前まちづくり構想』とは？③

このシリーズは、この豊中駅前を、まちの多くの人々が願う『安全で安心して楽しく歩き回れるまち』にするにはどのようにしていけば良いかをみなさんと共に考えて行きたいと企画しました。ご意見、ご感想をFAX又はメールにてお寄せ下さい。

豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局

連絡先

FAX：06 - 6858 - 6190 / メール：at.machi@mail.tmconet.com

——— 今回はまちづくり構想が豊中駅前のまちづくりにどのような効果があったのかを考えてみたいと思います。その前に「豊中駅前には他の街と違って、高い建物が建てられない」と聞きますが、どうしてですか？

【西岡】都市計画とは別に、もう1つきついルールがあります。空港が近いから、高い建物を建ててはダメという規制です。駅前だけでなく豊中市のほぼ全域が、空港を底にした「すり鉢状」の規制区域で高さが制限されています。空港や飛行機の進入ルートに近いほど高いものができません。

——— たとえば、容積率を考え周りが公園や広場があってその中に高い建物を建てるといった面白い開発をしたいと考えても、実際には難しいということですか。

【西岡】付加価値の高いプラン＝高さの必要なものを思いついても、実現の条件は他都市に比べ大変厳しいと思います。まちにゆとりをもたらす開発はひとつの敷地だけで考えるのは、難問かもしれませんね。

——— さて、構想の話にもどって、構想提案から15年、地域での議論、検討から数えて20年。今、構想の意味を振りかえって、どのような成果があったと思いますか。

【西岡】構想の目標のうち、歩道や広場などの改善は進みましたが、再開発や道路整備などの公共事業は実現していないので、それをもって構想や住民参加のまちづくりを否定的にみる人もいますが、構想は2度目となる再開発や新しい道路の整備など、都市計画で対応すべき大きな課題を、地域から提案した「まちのつくり変え」をめざす全国でも珍しいものでした。しかも構

想の実現が1990年代の中ごろという、二重三重に厳しい時期に重なりました。今までにない景気後退、日本の産業、商業、不動産利用などの構造的な変化が現われた時期です。多くの都市で、スーパーや商業ビルが潰れ、「シャッター商店街」が出現し、地域のまちづくりや、豊中駅前の構想をめぐる環境が大きく変化した時代でした。

——— 協議会の仲間にも、店をたたむ者、新しい事業に進む者、業種を変える者が現われました。しかし、豊中駅前には「シャッター通り」にはならなかった。それは、まちづくりの経験や地域の絆が支えになったのだと思います。一方で新しい店や店主の参加もあり、共同ビル化で新しい挑戦をする店主、再開発の商業ビルを再生する取組みなども地道に続きました。

【西岡】地域まちづくりは、まちの人が新たな挑戦をする土台をつくるもので、企業の「V字回復」のような結果にはつながる訳ではありません。構想は、まちの環境改善だけでなく、商業や文化などの新しい魅力づくりを目標にしました。

この分野は、コミュニティガーデンなど、花や緑を増やす取組み、地域間交流、音楽を生み育てる取組み、地域寄席、まちづくりの交流や議論を絶やさないフォーラム、小学校との交流、魅力ある商店づくりなど、活動の工夫と継続は他の地域に負けていないのではないのでしょうか。

——— 今後、構想の実現を支え

る上で大事なことはなんでしょう

【西岡】まちの目標や議論した内容が構想という形になっただけでなく、さらにそれを実現する協議会の活動、テーマごとの部会、そして地域の企業や住民をサポートするまちづくり会社という「地域の仕組み」が、いろいろ困難にあいながらも、継続していることが重要です。そして、豊中駅前の仕組みがとて「オープン」なこと、いろいろな協力者や支援者が参加し、駅前を舞台にした新しい動きにつながっていることが重要だと思います。

——— 役所との関係はどうですか。

【西岡】市のまちづくり支援という考え方と取組みは大変大事です。行政とは一線を引いて勝

手にやるということもありますが、多くの地域まちづくりは公と民の連携が欠かせないと思います。しかも地域のボランティアな組織が構成員の変動の影響を受けて、活動に波があることを考えると、行政による安

定した質の高い支援が欠かせない。そして市と連携しまちづくりを進めるという意味を如何に持続させていくか、参加者がお互いを認めあい、つながりを広げることが、これからの豊中駅前の将来を左右するのではないのでしょうか。

——— 今日はありがとうございました。



阪急豊中駅前 (2009/8/3)

『まちづくり構想』はまちづくり会社内まちづくりセンターにあります。ご希望の方は1,000円にて頒布しております。

会 員 募 集

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して
住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費(一口以上何口でも)
個人会員一口300円
商店会員一口5,000円

問い合わせ先：
まちづくりセンター(協議会事務局)
TEL/FAX:06-6858-6190